

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和59年10月2日 第25報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	80		○
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	120		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	100		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	8960	◎	◎
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	240	○	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	40		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	200	2.1	20.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	100	1.0	1.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	0.4	0.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	9260	96.5	77.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	9600	総体積	1.30E+07
種 類 数	8	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	8960

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Coelastrum cambricum</i>	240

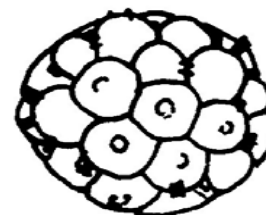
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンシヨウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンシヨウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノビウムは球形であり、たいてい32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い台形の突起を出している。